

10/5  
五旗

# 安倍政権、月内判断へ布石

## 南スーダンPKOに新任務

### 駆け付け警護 宿营地共同防護



南スーダンの首都ジュバで国連施設道路の補修を行う陸上自衛隊員(防衛省ホームページから)

付け警護」を実施する範囲を首都ジュバ周辺に限定する方向で調整を進めていきます。しかし、2013年末から首都ジュバで大統領派・副大統領派の武力衝突が発生し、14年1月には自衛隊宿营地近くで銃撃戦がおこり、今年7月にも両派の武力衝突が再発。宿营地周辺で激しい銃撃戦が繰り広げられるなど、ジュバの治安自体が不安定です。

安倍政権は、「駆け付け警護」や「宿营地共同防護」など、安保法制「戦争法」に基づく南スーダンPKO(国連平和維持活動)での新任務実施の判断を月内に行う方針です。陸上自衛隊部隊派遣の現行計画が10月末で切れるため、新計画に盛り込みたい考えです。

政府は11月に派遣される第11次隊への新任務付与を狙い、着々と布石を打っていますが、最終的には世論の動向

一方、安倍晋三首相は3日の衆院予算委員会で「宿营地共同防護」について、「PKOの宿营地に複数の部隊が混在する場合、宿营地全体を守るために共同訓練を行うが、自衛隊は法制上、訓練に参加できないという特殊な立場に立っている。この任務が付与されれば参加できる」と答弁。現在、同じ宿营地に駐屯するルワンダ軍との共同訓練・共同防護を念頭に前のめりの姿勢を示しました。

稲田朋美防衛相は7～9日の日程で南スーダンを視察。帰国後、第11次隊の基幹となる第9連隊第5普通科連隊(青森駐屯地)の訓練を視察して新任務付与を判断します。

また、政府は、自衛隊員の安全確保の観点から、「駆け